



学校だより

平成27年12月24日

練馬区立田柄第二小学校

校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.450

開校45周年によせて

校長 谷田 弘子

12月1日、本校は開校45周年を迎えました。2日には、児童の運営委員会が中心となり、「45周年記念集会」が行われました。第一回生で開校当時の様子をご存じな、元PTA会長の吉田和生さんに参加していただき、児童が色々と質問をさせていただきました。開校当時、施設が全部出来ていなかったため、6年生が机や椅子、棚などを先生と一緒に教室に運び入れたり、トイレが整備されていなかったために休み時間になると田柄中学校のトイレを借りたりと、とても不自由な生活だったようです。大変な中でも、教職員と児童が「新しいことを進めよう」という意欲に満ち、みんな生き生きと輝きながら、学校作りを進めていったそうです。

12日には、「開校45周年記念全校餅つき」が行われました。全学級の児童が餅つきを体験し、つくたてのお餅を頂きました。元PTA会長の皆さんやぎんなん会の皆さん、地域の皆さん、保護者のお手伝いの方々のご協力により、たいへん盛大に行うことができました。できたてのお餅はとても美味しく、児童も職員も大満足でした。午後から行われた親睦会では、多数の方々から田二小の歴史を話して頂き、楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

ところで、開校当時の様子を知ろうと思い、開校10周年の時に作成された記念誌に目を通しました。モノクロの写真を見ていると、歴史の重みを感じました。当時の児童の文章は大変興味深く、「こんな田二小」「こんな大人になりたい」「未来の田二小」などの内容をじっくり読ませていただきました。開校当初は、「風の強い日は砂ぼこりがひどく、体育の時間がとても困っていました。10年目を迎える前にスプリンクラーが設置され、とても便利になりました。」「豊島園のシャ

トルループが見えます。天気の良い日は、池袋のサンシャイン60や新宿のノッポビルも見えます。」「野球をしていて、麦畑やキャベツ畑にボールを入れておこられました。」「理科の勉強で、近くのキャベツ畑にモンシロチョウの幼虫を探しに行きました。穴だらけのキャベツの葉にたくさんの幼虫がついていました。」「などとありました。夢については、「漫画家になりたい」「幼稚園の先生になりたい」「大工さんになりたい」「パイロットになりたい」「俳優になりたい」などが書かれていました。未来の田二小を書いている6年生の文章には、「私が学校の正門を入っていくと、ドアが自動で、階段はエレベーターやエスカレーターです。私はこんな風になってほしくないです。今のままの田二小が一番好きです。なぜかという、何でも機械になってしまうと、児童や先生が楽をしてしまい、ちょっと運動すると頭がいたくなったり、気分が悪くなったりして、体が悪くなると思うからです。」「学校の裏の畑がなくなり、そこにはマンションが建ち並びます。学校の授業はテレビ中心に進められていることでしょう。先生の質問に、児童はスイッチで答えるのではないかな。」「とありました。学校環境は違っていても、現在の児童と違いは大きく違ってないことに気づきました。

開校当初の学校教育目標

- ・よく考え よく勉強する子ども
- ・しんせつで 心豊かな子ども
- ・力を合わせて やりぬく子ども
- ・元気で 健康な子ども

を目指してきた田柄第二小学校の伝統を守り、新たな時代に迎えても、目標をもって努力し、工夫していく、意欲的な児童が育っていく学校でありたいと願っています。

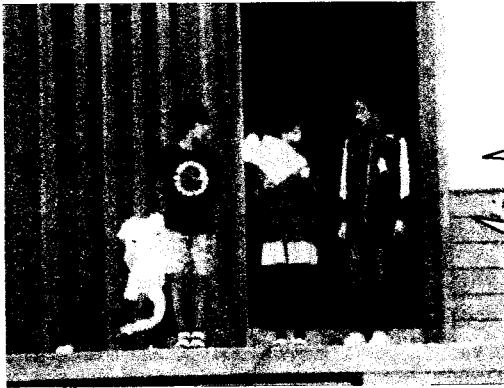
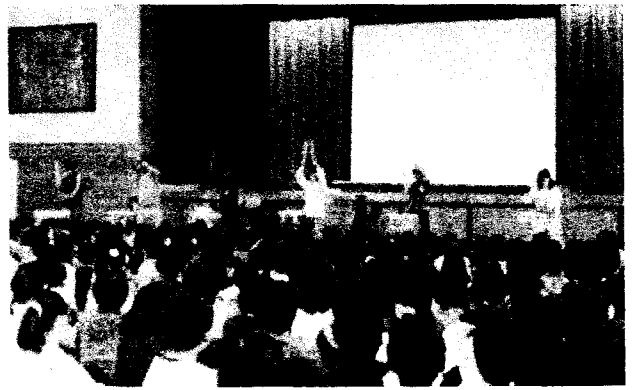


開校45

12月2日（水）2校時に、開校45周年記念集会が行われました。記念集会を企画・運営した運営児童が参加した学校へのプレゼントなど、児童の手作りの集会となりました。

華やかな和太鼓のリズムでスタートした開校記念集会。6年生による和太鼓のパフォーマンスはとても力強く、息もぴったりでした。

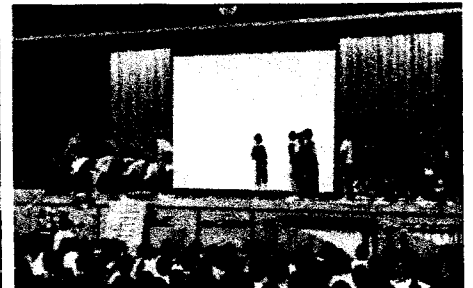
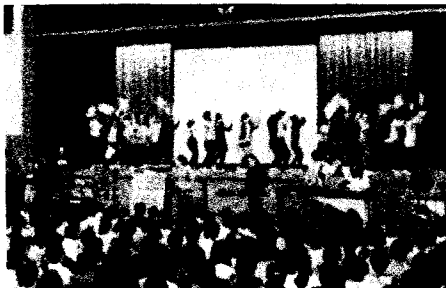
集会は、45周年記念キャラクターの「いちょうた」からの手紙ではじまりました。いちょうの妖精いちょうたはなんでも知っていて、子供たちには想像がつかない45年前のことを手紙で教えてくれたのです。



集会を進める司会と、裏方の仕事との両立が大変でしたが、みんなで協力できてよい集会になったと思います。

全体がざわざわしてしまい、なかなか進まないところもありましたが、きちんと進められてよかったです。

45年前の流行曲は、当時に解散したビートルズの「オブラディ・オブラダ」。6年生の有志による合奏にあわせて、5年生がダンスをしました。



当時の子供たちに流行していた遊びの紹介もありました。室内遊びクラブが花いちもんめや馬跳びなどを披露しました。

続いて、開校当時の田柄第二小学校の様子が紹介されました。子供たちが資料をまとめ、劇やスクリーンで全校に発表しました。



記念誌などから、45年前の学校の資料をまとめるのが大変でした。

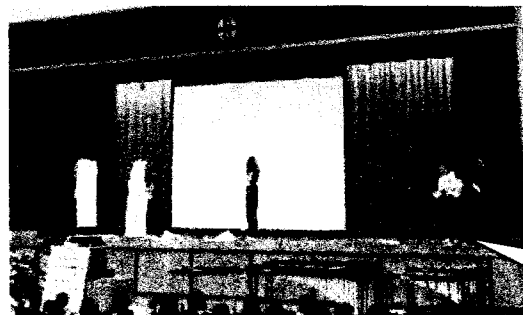
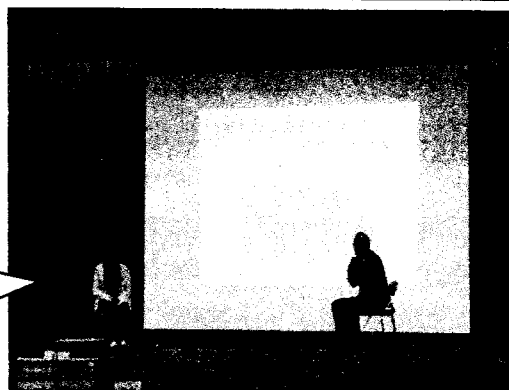
学校の45年前の劇をみんなで作りましたが、第1回生の吉田和夫さんにインタビューをしたら、内容が違うことがわかり、そこから直したのが大変でした。本番は緊張しましたが、やりきれてよかったです。

周年記念集会

委員会の児童をはじめ、代表委員会、室内遊びクラブ、有志の児童による合奏やダンス、そして、全校

本校の第1回生の吉田和夫さんにお越しいただき、開校当時の様子をお話しいただきました。

今回は事前に吉田さんのお宅へ伺い、インタビューさせていただきました。そのときも緊張しましたが、集会での1対1でのインタビューもとても緊張しました。ゆっくり、みんなが聞き取りやすいように話すよう心がけました。



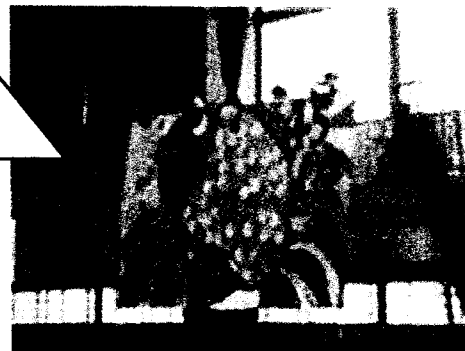
昔の様子がわかった後は、今の学校の様子へと内容は移りました。各クラスの様々な場面の写真が映されました。

全校で取り組んだ「田二小のなんでもランキング」。好きな給食や教科など、全校でアンケートを実施して、集計結果が発表されました。

全校分の集計が大変でしたが、思ったよりもみんなが盛り上がって良かったです。

全校のみんなから田二小へ「めでたい」のプレゼント。代表委員会の子どもたちが全校を代表して作りました。鱗の部分には全校児童のメッセージが書いてあります。

- めでたいの鯛の部分を作るときに気をつけたのは色です。絵の具を混ぜるときに同じ色を何度も作るようにしました。
- 大きな絵を塗るのは大変だったけど、みなさんに「おお」と言ってもらえて嬉しかったです。
- 最初は大変そうだったけど、完成した鯛を見てやってよかったと思いました。

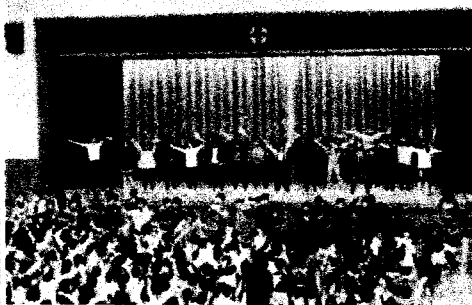


全員合唱は「ビリーブ」。全校児童の美しい歌声が体育館に響きました。

最後はサマーフェスティバルでも盛り上がったチャレンジの合奏で退場しました。

学校の45年を振り返り、学校への感謝の気持ちが一層深まった集会となりました。

文責 三田菜美・縣 まどか





航空写真

10月7日(水)の3時間目に、全校児童で航空写真を撮りました。これは、創立45周年を記念して行われたものです。

赤・ピンク・青・黄緑・黄色。5色のカラーエプロンを身に付け、児童から公募した創立45周年記念キャラクター「いちょうた」をかたどった人文字を、全校児童で作りました。

フォトスタッフの方が校庭に下絵を描いているときから、教室の中からその様子を見て、そわそわし始めていた子供たち。校庭に出ると、そのそわそわは、より一層大きくなりました。貴重な経験ができ、興奮気味の子供たちでした。

記念として、また、移り変わる地域の様子を知るうえでも、価値ある写真を撮ることができました。

文責 川波 一喜



45周年記念全校餅つき

「よいしょ!よいしょ!」

12月12日(土)、体育館に威勢のよいかけ声が響きました。総勢80名近くに及びPTA、保護者、地域の方々のご協力のもと、45周年記念全校餅つきが行われました。本来であれば10年に1度の開校記念餅つきですが、「全ての児童が経験できるように。」という地域の方々の心遣いにより、45周年も行いました。

エプロン、マスク、三角巾をし、消毒をした子供たちは、これから手術を行うお医者さんのように両手を上に挙げ、体育館に入場していきます。そして各クラス4、5名ずつ臼を囲み、順番に餅をついていきます。田柄の伝統「千本づき」です。初めて杵を持つ児童も多く、杵の持ち方やつき方を地域の方々が丁寧に教えて下さいました。各クラスの最後には、担任の先生も仕上げのつきを行い、子供たちは大喜び。「ドン。ドン。」という低い音と共に、固唾を飲んで見守りました。まさに子供と先生と地域の方々が一体となって盛り上がった瞬間でした。

教室に戻り、出来たてのお餅をほおばる子供たちの顔は、まさに笑顔いっぱい。45周年にふさわしい記念餅つきとなりました。



文責 花俣 博己